



iPro2レコーダ使用の注意事項およびガイドライン

血糖測定

- 1日目：
 - 診療を終えて1時間以上経過後に初回の血糖測定を行います。
 - 診療を終えて3時間以上経過後に2回目の血糖測定を行います。
 - 就寝までに少なくともあと1回血糖測定を行います。
- 朝食前、昼食前、夕食前、就寝前など、毎日最低4回の血糖測定を行います。
- 測定中に血糖自己測定器の設定を変更しないでください。
- すべての血糖測定に同じ血糖自己測定器を使用してください。
- 測定中に血糖自己測定器を他人に使用させないでください。
- 測定中にコントロール液を使用しないでください。

ログシート入力

- 血糖値、飲食物、糖質量、活動とその時間、服用薬と用量、ならびにその他のイベント(低血糖、ストレス、疾病など)を記録します。
- 患者様用ログを常に携帯して各イベント後に情報を直ちに記録できるようにします。各血糖測定から5分以内に時刻および日付を記録します。

注意および警告

- 普段どおりの生活をしてください。普段運動をしていれば、運動もしてください。
- センサおよびレコーダの上からテープを貼っておくと、不用意に外れたりセンサが動いたりするのを防ぐことができます。センサが少しでも抜けていると、動作が停止します。新しいテープが必要な場合は、元のテープの上に貼ってください。センサが抜けた場合は、センサおよびレコーダをチャックつきビニール袋に入れて医師に報告します。
- 穿刺部位を1日4回点検して、センサとレコーダがしっかり接続されていること、センサがまだ完全に挿入されていること、出血または刺激感がないことを確認します。
 - センサが抜けかけている場合は、そっと押し込みます。
 - 穿刺部位に発赤、疼痛、圧痛または腫脹が生じた場合は、センサを取り外し、医師に報告してください。
- レコーダおよびセンサを取り外さずにシャワーを浴びたり、泳いだりすることができます。レコーダは水深2.4メートル(8フィート)で30分間防水性が保たれます。水面での水泳またはシャワーに時間制限はありません。
- インスリン注射はセンサ挿入部位から8cm (3インチ)以上離れた部位に、インスリンポンプ注入はセンサ挿入部位から5cm (2インチ)以上離れた部位に行います。
- X線検査、CTスキャンまたはMRIの前にはレコーダを取り外さなければなりません(ただしセンサは取り外す必要はありません)。検査終了後にレコーダを再接続します。

